

母性看護学実習

I 実習目的

周産期にある対象の特徴をふまえ、対象である妊婦・産婦・褥婦・新生児とその家族がより健康に過ごすために必要な看護を提供するための基礎的能力を修得する

II 実習目標

- 1 外来における妊娠期の看護について理解する
- 2 産婦及びその家族への必要な看護を理解する
- 3 産褥期にある対象と新生児の状態から、健康の保持・増進に必要な看護を理解する
- 4 妊婦・産婦・褥婦及び乳幼児に対する母子保健サービスを理解する
- 5 地域の子育て家庭に対する育児支援を理解する
- 6 周産期における母性看護の特徴と役割について考察する
- 7 実習を通して、倫理的な態度と言動を示す

III 実習構成

1 単位と時間数

2単位（総時間数 80時間）

2 実習構成内容・実習場所・実習時間

実習構成内容	実習場所	実習時間
実習オリエンテーション	新潟県立十日町看護専門学校	2H
妊婦・産婦・褥婦・新生児及び家族への看護	新潟大学地域医療教育センター魚沼基幹病院	43H
妊産褥婦及び乳幼児に対する母子保健サービス	十日町市市民福祉部/健康づくり推進課	3H
地域の子育て家庭に対する育児支援	十日町市市民福祉部/子育て支援課	3H
	子育て支援センター	3H
学内実習	新潟県立十日町看護専門学校	26H

IV 実習内容

実習目標・行動目標	実習内容
<p>1 外来における妊娠期の看護について理解する</p> <p>(1) 妊娠経過に応じた妊婦の身体的・心理的・社会的特徴を述べる</p> <p>(2) 妊娠経過に応じた外来における看護の実際を述べる</p> <p>(3) 産科外来における看護の役割について自己の考えを述べる</p>	<p>①妊娠経過に応じた身体的特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 腹囲 ・ 子宮底長 ・ 基礎体温 ・ つわり ・ 乳房の変化 ・ マイナートラブル ・ 胎児の発育状況 ・ 妊娠分娩歴 ・ 妊娠週数 ・ 既往歴 ・ 遺伝的要因 <p>②妊娠経過に応じた心理的特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 妊娠の受容、愛着形成、母親役割獲得、不安、葛藤 <p>③妊娠経過に応じた社会的特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 就労状態 ・ 家族や夫の協力 ・ 社会資源の活用 <p>④妊婦健康診査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 診察、内診 ・ 血液検査（感染症、血型なども）、体重測定 ・ 血圧測定、妊娠反応、尿検査、腹囲測定 ・ 母子健康手帳の活用 ・ 子宮底長測定、胎児心拍聴取 ・ レオポルト[®]触診法 ・ 超音波検査（GS、CRL、BPD、EFBW） ・ NST 検査、クラミジア検査、GBS 検査 <p>⑤産科外来の看護</p> <p>妊婦健康診査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 診察の介助、計測 ・ 異常の早期発見 <p>保健指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個別指導（妊娠初期、妊娠中期、妊娠後期） ・ 集団指導（母親学級） ・ 生活指導・食事指導・精神的サポート <p>妊婦への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 妊娠の受容、愛着形成、母親役割獲得の支援 ・ 行政や病棟との連携 ・ 分娩、育児を見据えた関わり ・ プライバシーの保護・羞恥心への配慮
<p>2 産婦及びその家族に必要な看護を理解する</p> <p>(1) 分娩の進行に伴う産婦の身体的特徴を述べる</p> <p>(2) 分娩の進行に伴う心理的特徴を述べる</p> <p>(3) 産婦が安全・安楽に出産するための看護を述べる</p>	<p>①分娩の進行に伴う身体的特徴</p> <p>分娩第1期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 陣痛間隔・子宮口開大・フリードマン曲線 ・ ビショップスコア・破水の状況・胎児心拍数 ・ 呼吸法・活動と休息・児の回旋 <p>分娩第2期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 腹圧の状況・排臨・発露・呼吸法 <p>分娩第3期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 胎盤剥離徴候・子宮収縮状況・一般状態

	<p>分娩第4期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般状態・子宮底長・悪露・排尿状況 <p>②分娩の進行に伴う心理的特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陣痛に対する産婦の受け止め・出産への思い ・生まれてくる子どもへの思い ・家族・夫のサポート <p>起こりやすい異常</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陣痛の異常、胎児機能不全、弛緩出血など <p>③安全・安楽に産出するための看護</p> <p>分娩進行に伴う観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・胎児心拍数陣痛図 ・胎児の回旋 ・フリードマン曲線 ・陣痛間欠・発作時間、破水、努責、排臨、発露 ・胎盤剥離徴候 ・子宮収縮、悪露 <p>産痛緩和</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呼吸法・補助動作・姿勢・環境調整 <p>セルフケア支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養補給・水分補給・睡眠・排泄・清潔・保温 ・出産体験が肯定的になるためのケア ・バースプランに沿った看護 ・母親、家族へのねぎらい
<p>3 産褥期にある対象と新生児の状態から、健康の保持・増進に必要な看護を理解する</p> <p>(1) 産褥期にある対象の妊娠・分娩の経過を述べる</p> <p>(2) 産褥期にある対象の安全・安楽に配慮して退行性変化を観察する</p> <p>(3) 産褥期にある対象に対し、安全・安楽に配慮して回復状態を観察する</p> <p>(4) 産褥期にある対象に対し、安全・安楽に配慮して進行性変化を観察する</p> <p>(5) 産褥期にある対象の心理・社会的変化について述べる</p> <p>(6) 新生児の胎外環境適応状況を観察する</p> <p>(7) 新生児への援助を安全に実施する</p> <p>(8) 収集した情報から産褥期にある対象と新生児を関連付けて解釈・分析する</p> <p>(9) ウェルネス志向を基盤とした看護計画を立案する</p>	<p>①妊娠・分娩の経過</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既往歴・職業 ・妊娠、分娩歴 ・妊婦中（妊婦健診中）の経過 ・妊娠中のトラブルや合併症の有無、程度 ・妊娠中の心理・社会的状況 ・胎児の成長・発達の異常の有無 ・バースプラン ・分娩方法、経過 （分娩様式、会陰切開、分娩所要時間、分娩時出血母児の早期接触） ・児の出生時の状態 （性別、体重、身長、胸囲、頭囲、産瘤・頭血腫の有無、アプガースコア、呼吸状態、チアノーゼの有無） <p>②褥婦の観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退行性変化：子宮復古、悪露の性状、量 会陰部の状態、外陰部、肛門、後陣痛、創痛 ・回復状態：バイタルサイン、排尿、排便、疲労、浮腫・貧血、セルフケア状況 ・進行性変化：乳頭・乳輪部と乳房の変化 乳汁分泌状態

③心理・社会的変化

心理的变化、母親役割の獲得過程

- ・ 育児に関する知識や技術の習得度
- ・ 母子相互作用、愛着形成
- ・ 育児不安マタニティブルーズ
- ・ エジンバラ産後うつ病自己評価 (EPDS)

社会的変化

- ・ 社会資源、諸制度の活用状況
- ・ 産後休暇、育児時間、育児休業
- ・ 在住する地域や社会のサポート、母子保健サービス

家族の心理的变化 (父親・兄弟・祖父母など)

- ・ 役割変化、児の受容、育児へのサポート、関り

④出生直後の新生児の看護

- ・ 気道の確保、保温、水分のふき取り
- ・ アプガースコアの採点、臍処置、抗生物質の点眼
- ・ 母児標識装着、バイタルサイン測定、身体計測
- ・ 外表奇形などの全身観察、母 (父) 児接触

⑤新生児の観察 (生理的变化)

児の胎外環境適応状況

- ・ 在胎週数/成熟度
- ・ 呼吸、循環の確立・バイタルサイン・哺乳状況
- ・ 排泄状況・生理的黄疸の変化・生理的体重減少
- ・ 臍帯の状態・皮膚の状態・原始反射

⑥新生児への援助

- ・ 沐浴、清拭・臍処置・びん哺乳
- ・ オムツ交換・更衣・事故防止・環境整備・だっこ
- ・ 計測や観察

新生児の診察・検査・処置

- ・ 初回診察、退院診察
- ・ 先天性代謝異常検査、黄疸検査、聴力検査
- ・ ビタミンK₂シロップ与薬

⑦ウェルネス志向を基盤とした支援

母親役割獲得を促進する援助

- ・ 早期授乳開始・母児同室・自律授乳
- ・ 乳房トラブルに対する援助・
- ・ 栄養、水分、睡眠、休息への援助
- ・ 環境調整・母乳栄養への理解

直接授乳への支援

- ・ 授乳姿勢・ラッチオン・授乳のタイミング
- ・ 乳房・乳頭ケア・母子相互作用の促進

育児技術習得への支援

- ・ 抱き方、オムツ交換・更衣・沐浴・授乳など養育に必要な育児技術の習得

家族関係の再構築

- ・ 家族役割の変化

	<ul style="list-style-type: none"> ・母親役割への適応・父親役割への適応 ・育児の準備状況 ・家族のサポート体制 ・きょうだいへの対応 ・家族計画に対する知識
<p>4 妊婦・産婦・褥婦及び乳幼児に対する母子保健サービスを理解する</p> <p>(1)地域における切れ目のない母子保健施策としての母子保健事業の役割を述べる</p> <p>(2)妊婦・産婦・褥婦への母子保健サービスの目的と内容について自己の考えを述べる</p>	<p>①自治体（市町村）が行う母子保健事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関連法規 ・母子保健事業の概況 ・母子保健活動を担う様々な職種とその連携 ・母子健康包括支援事業 <p>②妊婦・産婦・褥婦への母子保健サービス</p> <p>妊婦に対する母子保健サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠の届け出、母子健康手帳の交付 ・産婦健康診査受診票の交付、妊婦歯科健診 ・親になるための準備（ハロパママ学級） ・保健相談・出産育児一時金の給付、出生祝い金助成 ・妊産婦医療費助成、風疹予防接種費用助成、特定不妊治療費助成 <p>退院後の母子保健サービス（新生児・乳幼児対象）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新生児訪問、こんにちは赤ちゃん訪問 ・乳幼児健診、離乳食教室 ・乳幼児健康相談、乳幼児・学童の予防接種 ・養育支援訪問事業 ・産後ケア事業
<p>5 地域の子育て家庭に対する育児支援を理解する</p> <p>(1)地域における切れ目のない母子保健施策としての子育て支援事業の目的と内容を述べる</p> <p>(2)子育て支援センターの特徴を理解し、支援活動における配慮に気づきを示す</p> <p>(3)子育て支援活動の実際を通して、子育て支援センターを利用する母親（保育者）のニーズとその支援を述べる</p>	<p>①自治体（市町村）が行う子育て支援事業の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法律上の役割 ・市の取り組み、計画 ・子育て支援事業の概要 ・子育て支援活動における看護職の役割 <p>②支援事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センター ・ファミリーサポート・センター ・子育てに関する相談 ・保育園、認定こども園 ・病児・病後児保育事業 ・放課後児童クラブ ・児童虐待の相談・連絡（通告） ・家庭教育、子育て支援に関する学習情報の提供 ・発達支援センター ・児童手当、助成 <p>③子育て支援センターでの支援施設の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設沿革、特色、組織、職員数、支援環境 ・利用状況、支援者の職種 ・利用される母親（保育者）のニーズ、利用しての感想

	<p>子育て支援活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育者間、子ども間、園児とのふれあい ・ 育児不安等の相談指導 ・ 子育てに関する情報提供 ・ 援助の調整、保育者の研修 ・ 保育者相互の情報交換を図るための支援 ・ 関連施設との連携 <p>支援活動における配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 守秘義務、安全対策、感染予防対策 ・ 利用者への個別的支援
<p>6 周産期における母性看護の特徴と役割について考察する</p> <p>(1) 周産期にある対象がより健康に過ごすために必要な看護について自己の考えを述べる</p>	<p>①母性看護の特徴と役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己決定権の尊重・擁護 ・ 母児一体 ・ ヘルスプロモーション ・ セルフケア能力 ・ 生理的变化
<p>7 実習を通して、倫理的な態度と言動を示す</p> <p>(1) プライバシーの保護や羞恥心への配慮を自己の態度と言動で示す</p> <p>(2) 他者からの意見や助言を受け止め、自己の態度と言動で示す</p> <p>(3) 自己の課題解決に向けた学習に対する姿勢を示す</p> <p>(4) 実習での経験を踏まえながら、自己の学びを示す</p>	<p>①看護職の倫理綱領</p> <p>②身だしなみを整える</p> <p>③患者、スタッフ、教員とのコミュニケーション</p> <p>④相手に対する思いやり、配慮、言動</p> <p>⑤意見や助言を謙虚に聴く姿勢</p> <p>⑥自己の行動の振り返り</p> <p>⑦カンファレンスに臨む姿勢</p> <p>⑧カンファレンステーマに沿った意見交換</p> <p>⑨報告・連絡・相談</p> <p>⑩計画的な看護技術の経験</p> <p>⑪主体的な学習、追加学習</p> <p>⑫学習した知識の活用</p> <p>⑬心身の健康管理</p> <p>⑭テーマに沿ったレポート</p> <p>⑮看護理論の活用</p>

V 実習配置

別紙参照

VI 実習方法

1 病院外施設実習

1) 十日町市市民福祉部（健康づくり推進課）、十日町市市民福祉部（子育て支援課）
担当者の話を聴講し自分の考えをまとめる

2) 子育て支援センター

施設の見学及び子育て支援センターに訪れた母子とコミュニケーションを図り、行われている活動に参加する

2 病院実習

1) 産科外来実習

受け持ちを選定せずに、その日に行われる妊婦健康診査や指導の見学を行う

2) 病棟実習

1組の母児を受け持ち、母児に対し必要な観察や援助を行う

3 学内実習

視聴覚教材やモデル人形を用いて実習に必要な知識・技術の再確認や課題学習を行う

	時間数	内容
学内実習①	3	母子保健のまとめ（グループワーク）
学内実習②	5	新生児や褥婦の看護に必要な知識・技術の確認 1. DVDの視聴 ・母性看護技術アドバンス講義用DVD ・看護過程から学ぶ！母性看護学実習 vol 1 （全身の回復と子宮復古を促す看護 ケアの実施） 2. 新生児の安全に配慮した看護技術の実践 ・沐浴・清拭、体重測定、新生児バイタルサイン測定 など 3. 褥婦の安全安楽に配慮して看護技術を実践する ・子宮底の確認、乳房などの進行性変化の確認 など
学内実習③	7	1. DVDの視聴 ・DVD目で見える母性看護 vol 5（分娩進行の観察とサポートケア） ・DVD目で見える母性看護 vol 6（分娩第1～4期の看護実践） 2. 産婦が安全・安楽に産出するための看護展開 ・分娩の進行に伴うアセスメントと必要な支援 ・産婦の看護実践（ロールプレイ）
学内実習④	4	1. 妊娠各期にある対象の看護 ・妊娠各期にある対象のアセスメントと必要な支援
学内実習⑤	4	2. 妊娠各期にある対象へ安全に配慮した看護技術の実践 ・レオポルド、子宮底長測定、腹囲計測、児心音聴取 ・妊婦の看護実践（ロールプレイ）
学内実習⑥	3	子育て支援センターでの学びの共有、まとめ

Ⅶ 実習記録

- 1 実習評価表（母性 様式1）
- 2 学修成果レポート（母性 様式2）
- 3 産科外来実習における学び（母性 様式3-①）
- 4 産科外来実習 毎日の実習記録（母性 様式3-②）
- 5 学内実習 事例考察用紙（母性 様式4-①）
- 6 学内実習 看護実践振り返り用紙（母性 様式4-②）
- 7 基礎情報（母性 様式5）
- 8 褥婦経過表（母性 様式6-①）
- 9 新生児経過表（母性 様式6-②）
- 10 母性アセスメントシート（母性 様式7）
- 11 ウェルネス志向を基盤とした看護計画シート（母性 様式8）
- 12 毎日の実習記録 看護計画立案前（共通 様式F-①）
- 13 母子保健サービスについての学び（母性 様式9-①）
- 14 子育て支援事業についての学び（母性 様式9-②）

- 15 子育て支援センター実習の学び（母性 様式9-③）
- 16 事前学習・追加学習

Ⅷ 実習評価

最終評価は、評価表に基づき担当教員が評価する